

また、いじめ問題対策審議会において調査・解決できなかった場合に、市長判断による再調査も定めており、一歩進んだ取り組みを進めています。

(議決結果) 全会一致で可決

○姫路市及び加西市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約(議案第18号)

問 連携によって得られる効果について。

答 今後、都市機能の充実が進む姫路市において発生が見込まれる雇用や経済成長を、連携により加西市へ還元し、ひとつの圏域として発展を図っていきたいと考えています。

問 地方の集積を目的とする本協約の締結は、とりわけ医療においては、国・県が進めている高度急性期病床を削減する流れへの同調に繋がり、地域の急性期を目指す加西病院の姿勢に大きく影響するのではないかと。また、仮に今後、自治体間において意見の不一致があった場合に、県が間に入るのであれば、やはりその方向性に強く組み込まれていくのではないかと。

答 「話し合いにおいてちがいが明かない」また「いずれかにその意志が非常に強い場合」は、紛争の解決として、一方的な協定の破棄も可能と明記しています。

また、協約によって、即近隣の連携自治体の公立病院が制限を受けるものではなく、加西病院のあり方については、加西市自身が主体性をもって取り組んでいきたいと考えています。

(議決結果) 全会一致で可決

○一般会計補正予算(議案第24号)

問 繰り返される不動産売却作業の進捗状況について。

答 対象となっている旧の消防署跡地は、公有財産でもあり、なかなか思い切った金額の譲歩がしづらく、市街地の不整形な土地でもあることから、一般競争入札の告示には問い合わせすらない状況です。

また、インターネット及び近畿財務局のホームページ経由では、太陽光発電の用地目的として問い合わせがありますが、市街地での設置は採算が取れないこともあり、状況の確認に終始しており、今後も継続して可能な手立てを探り、売却に努めたいと考えています。

(議決結果) 全会一致で可決

建設経済厚生委員会

○加西市歩くまちづくり条例(議案第8号)

問 市民運動につなげる方法と安全面での環境整備について。

答 広報やホームページで、歩くことの素晴らしさや健康への影響等について周知し、運動ポイント事業がそのきっかけとなるよう計画しており、既に実行している方が周囲の方を誘っていただく形で普及できたらと考えています。

また、条例の趣旨を各種事業が十分受け止め実施することが環境整備のために重要だと考えています。

(議決結果) 全会一致で可決

○加西市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画(議案第19号)

問 地域支援事業の総合事業への移行について、これまでの既存のサービスに加えてNPOや民間企業、ボランティア等の主体をつくることだが、その見通しについて。

答 例えば、地域で新しい協議体をつくり議論をしたり、既存で同様の活動をしている老人クラブ・自治会・いきいき委員会・はつらつ委員会等にもご協力いただき、今の形をそのまま介護保険制度の事業に合う形で再構成する部分もあるため、全て新規からではなく、アレンジにより既存の取り組みをうまく生かせないかと考えています。

問 介護・医療連携のひとつである在宅医療の推進に向けて、かかりつけ医制度体制を構築するのか。

答 2025年までに地域包括ケアシステムを確立するための医療介護連携の第一歩として、医療関係者と介護の連携を強化する在宅医療介護連携推進事業を29年度から着手したいと考えています。

具体的には、地域的な医療・介護の実情分析や、課題抽出及び解決方法を検討するものです。

(議決結果) 全会一致で可決

○一般会計補正予算(議案第24号)

問 衛生費の焼却施設費の減額の理由について。

答 管理委託料や工事請負費の入札による減額のほか、個人事業者から加西クリーンセンターに持ち込まれたごみを小野クリーンセンターまで中継して処理するための手数料、そして、粗大ごみを加西クリーンセンターに集めたあと小野クリーンセンターまで運ぶ廃棄物処理委託料が、持ち込みごみや粗大ごみの量が減ったことにより減額となったことが理由です。

問 共通商品券事業補助金の効果について。

答 これまでのプレミアム5%(発行額1億円)の効果額が約5,000万円であり、今回はプレミアム20%に設定するため相当の効果が見込めるものと考えています。

また、同時に商工会議所や商店連合会でも商業振興事業を行うため、さらなる活性化が見込めるものと考えています。

(議決結果) 全会一致で可決

○国民健康保険特別会計補正予算(議案第25号)

問 税率改正後の特別会計の運営状況について。

答 26年度の保険給付費はほぼ前年と同額で推移しており、補助金等も大きな変更がなく、現在のところ1億円程度の余裕があります。

(議決結果) 全会一致で可決